

Q

地震に対する不安、聞かせてください。



特集 大地震は起きる



大地震は起きる



家が命を奪う

大地震に対する不安と言えば、例えば「集落の孤立」「地震火災」「液状化」「津波」「ライフラインの寸断」「土砂災害」など、地域性や家族構成、自身の健康状態などによってさまざまなものが考えられます。

今回は、直接、町民の皆さまからお聞きした意見の中で最も多かった「家屋の倒壊」について、その危険性や対策について紹介していきます。

家屋倒壊については、令和6年能登半島地震でも、8千棟を超える建物が全壊し、犠牲者の約4割の方がこの家屋倒壊などによる圧死だと報告されています。

皆さんが毎日寝起きをして安らいているご自宅ですが、地震への対策が不十分だった場合、その場所は私たちが襲う危険な空間へと一変するのです。

耐震補強

の重要性について、専門業者に伺ってみました。

「まだまだ町の補助制度を知らない方が多い」と話す上澤さん。「耐震化は、地震から命を守るために重要な対策。それは分かっているけど、工事費の問題や申請手続の手間、家の中の片付けなど、不安材料が多く耐震化に踏み切れない実情がある。それでも命に関わる大切な問題だからこそ、私たちも行政と一緒に、もっともっと力を入れて啓発していきたい。」



上澤設計事務所（弘見）

「倒壊しなくなるわけではないが、人的被害は軽減される」

「4月に発生した地震の後、耐震化の問い合わせが増えている」と話す岡田さん。「町の補助制度を効果的に活用し、できるだけ資金面での負担が生じないような耐震方法を提案することもできる。倒壊家屋が多く発生すれば、救助活動やその後の復旧活動にも支障を来すことになるだろう。まずは、3千円で耐震診断だけでも受けてほしい。」



岡田建設設計事務所（昭和）

4月17日深夜、豊後水道を震源とする地震が発生し、県西部は激しい揺れに襲われました。宿毛市で震度6弱を観測し、四万十町内でも震度4を観測。現在の震度階級になって以降、初めて四国で震度6弱以上の観測となりました。

深夜の突然の揺れ、そして今までに経験したことがない長い揺れ、「ついに来たか!」と、南海トラフ地震が頭をよぎった方は少なくないでしょう。近い将来必ず発生すると言われていたこの南海トラフ地震。今回の地震は、その想定震源域で発生したものの、発生メカニズムが異なるという理由から、気象庁は発生の可能性が急激に高まったとは考えにくいという見解を示しています。

しかし、いつこの大地震が発生してもおかしくない状況にあります。不安を感じた今だからこそ、皆さまの心に届くと思いい、今回は「地震」について考えてみます。（被災写真はすべて令和6年能登半島地震のものです。）

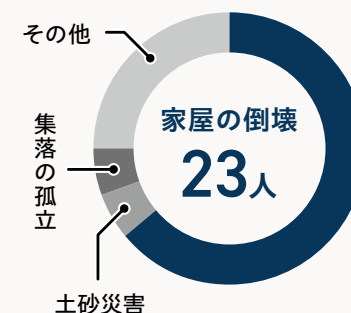


町民の皆さん36名に聞きました!

地震に対する不安

聞かせてください。

さまざまな「不安」が出てくると思いきや、およそ6割の方が口にしたのが、「家屋の倒壊」についてでした。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



「これまでも大きな地震が発生した後は、耐震化補助事業の申請件数が、若干増えたりもするんですけど、それでも年間50件くらいで、まだまだなんですよ」。そう話すのは、四万十町建設課の下元課長。

今年度から、耐震設計・耐震工事に伴う補助上限額を増額し、町としても住宅の耐震化については、地震対策の重要な施策として取り組んでいます。

それでも耐震化が進まない理由の一つに、費用面の問題があります。実績額として、令和4年の高知県内の平均工事費は163万円と、決して安くはない金額ですが、四万十町の補助金制度により自己負担額を軽減することができません。費用面以外にも個別の事情などありますが、「まずは地震の揺れから命を守るために、一歩踏み出してもらいたいですね」と、語ってくれました。

耐震化で守るのは、建物じゃなくて命なんです



四万十町建設課長 下元 敏博

地震を想定した行動をシミュレーションしておく



福永 健一さん（勝賀野）

「突然、ズンッと突き上げられたかと思うと、下に落とされた感じだった」。そう当時を振り返るのは、兵庫県西宮市で「阪神・淡路大震災」を経験した福永健一さん。咄嗟に妻が当時小学生だった2人の娘の上に覆いかぶさり、その上に倒れ掛かりそうになったタンスを、健一さんが手で押さえ続けたといいます。マンションの3階にあった自宅のドアは歪んで開かなかったため、窓から隣の建物の屋根へと順番に飛び移って避難した福永さん。「あの時、咄嗟の行動ができたのは、私たちは常に地震が来た時の行動をシミュレーションしていたからなんですよ」と、最後に語ってくれました。

我が家の備え 各部屋へ懐中電灯を常備！

ドアを叩き壊して、何とか外に出た



橋本 文男さん（木屋ヶ内）

「トラックが突っ込んだかと思ったほどの音と震動で飛び起きた」と話すのは、当時、兵庫県尼崎市で「阪神・淡路大震災」を経験した橋本さん。ブラウン管のテレビが2～3m飛び、洋服ダンスも倒れ、家の玄関ドアは捻じれて開かなかったため、近くにあった折りたたみイスでドアを叩き壊して、必死で外に出た橋本さん。「その時、足の裏がベトベトすることに気が付いたんです。慌てて裸足で出てきたせいで、足の裏が血だらけになっていたことを覚えています。あれほど、自然の恐ろしさを感じたことはないですね」と話してくれました。

我が家の備え 自宅の耐震補強！

馴染みある景色がなくなった



栗原 あゆみさん（広瀬）

小学生の時に、兵庫県神戸市で「阪神・淡路大震災」を経験。「私に覆いかぶさってくれた母の背中にタンスが倒れてきたんです。父もピアノに挟まれていたけど、何とか私たちを助け出してくれました」。

それから、16年後、社会人となった栗原さんは、東京都港区で「東日本大震災」を経験。普段は私鉄で約10分の道のりを、2時間かけて歩いて帰宅したといいます。

「大きな災害によって、馴染みある景色がなくなった。それくらい悲惨なものなんです」と話してくれました。

我が家の備え ベッドの下に靴！

津波から逃げるために 古谷 健三さん（志和）



「南海トラフ地震が発生した場合、志和地区では、大きな揺れの後、15～20分で津波に襲われるんです」。そう話すのは、昨年度、自宅を耐震補強した古谷健三さん。

「沿岸部の場合、住居の耐震化を行っても、津波で家ごと流されてしまうのではと思う方もいるかもしれませんが、それは違います。私は、この家を守るためじゃなくて、揺れの後に襲ってくる津波から、いち早く逃げるために耐震化をしたんですよ」。

古谷さんにそう思わせたのが、今から13年前の東日本大震災の津波。あのすさまじい津波の威力をテレビで見たとき、これはすぐに家から出られない限り、絶対に助からないと思ったそうです。

「だからこそ、自宅を耐震補強し、倒壊する時間を少しでも稼いで、その間に外に逃げ出すしかないんです。怪我無く、家の外に出られてこそ、津波からの避難を始められるんですよ」と真剣に語ってくれました。

家の外に出るまでの、時間稼ぎに過ぎない



リフォームに併せて 岡峯 由希子さん（広瀬）

義理の両親が所有していた住居に住んでいる岡峯さん。築年数が古く、瓦屋根だったこともあり、大きな地震が発生したら、絶対に屋根が潰れてしまうんじゃないかと、ずっと不安だったそうです。「5～6年前から、耐震補強を兼ねたリフォームを検討していて、やっと昨年度、工事をする事ができました。以前は襖などの建具で部屋が仕切られていたんですけど、新たに補強壁や筋交いが入って、住居の耐力が向上したそうなんです」と話してくれました。

今年4月に県西部を襲った地震の際にも、耐震工事を行っていたことで、「全く安心感が違ったんです。もし、耐震化をしていなかったら、あの揺れでもどうなっていたか分からないです」。

工事の実施に当たっては、「町の耐震化補助制度を活用できたので、本当に助かりました。今、子どもたちと安心して生活ができているのも、耐震補強をしたおかげです」と話してくれました。

築年数が古くても、安心感が違う

築100年の家を耐震化 武内 祥一さん（大正大奈路）



築100年以上だという自宅は、昭和の南海地震により少し傾いていたそうで、「今度、南海トラフ地震が来たら完全に崩れると思っていました」。そう語るのは、屋根の雨漏り改修と併せて耐震補強を行った武内さん。

瓦屋根をガルバリウム鋼板に改修し、壁も補強したことで、思っていた以上に工事費は高くなったそうですが、「少しは安心できるようになったよ」と笑ってお話ししてくれました。

長年、区長を務めていた経験から、町の補助制度については知っていた武内さん。

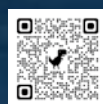


「今は仕事や農作業で、家を出ることも多いが、これから先、歳を重ねるにつれ、家にいる時間は長くなる。そうなってくると、家で被災する可能性が高くなるから、多少、工事費用の負担があったとしても、家の耐震化はやっておこうと思っていたんです」と語ってくれました。

これから先、家にいる時間が長くなるから

補助制度 四万十町耐震化補助事業

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅が対象になります。

木造住宅
耐震診断自己負担
3千円木造住宅
耐震設計補助上限
22万円木造住宅
耐震改修工事補助上限
150万円申請手続き
案内耐震補助
啓発動画

お問い合わせ先／建設課 22-3120



8年ぶりの現地訪問で友好を深めた

韓国・高敞郡を代表団が表敬訪問

4月19日から23日にかけて、当町と友好交流協定を締結している韓国高敞（コチャン）郡を、教育長・議長をはじめとする代表団6名が表敬訪問しました。

今年3月には、高敞郡の代表団が当町を訪れていたこともあり、5日間の交流は終始和やかな雰囲気。20日には「第21回青麦畑まつり」で教育長が祝辞を述べたほか、干潟センターや湿地などの高敞郡が所有する施設を見学しました。最終日には郡守（長官）・議長らと今後の交流について意見交換を行い、友好を深めました。



得点を挙げ盛り上がる仁井田米コメッツのメンバー

仁井田米コメッツ 四国準優勝！

四国各県の予選大会を勝ち上がったチームで開催される「第38回四国小学生男子ソフトボール大会」が、4月20日から21日の2日間、徳島市で開催されました。

高知県からは4チームが参加し、その内、町内で活動する仁井田米コメッツは、2回戦で愛媛県代表チームを破って勢いづく、続く準決勝も勝ち上がり、決勝戦へ進出。接戦の末、香川県代表チームに1-3で惜敗したものの見事準優勝を飾りました。

高知県ソフトボール協会の関係者も、高知県勢として準優勝したのは、過去にも記憶がないという快挙となりました。



約500匹のこいのぼりの下で開催された

第21回よってこい四万十が開催

十川地区のこいのぼり公園で5月3日、第21回「よってこい四万十」が盛大に開催されました。

ゴールデンウィーク恒例イベントの「よってこい四万十」。当日は天候にも恵まれ、町内のみならず、中四国や関西方面からの観光客も多く、大いににぎわっていました。会場には、特別に設置された釣り堀（あめご釣り）や、ふわふわ遊具（エアートランポリン）、移動動物園などのアトラクションも多く登場したほか、出店やキッチンカーでの食事も提供され、来場者は上空を優雅に舞う約500匹のこいのぼりを仰ぎ見ながらイベントを楽しんでいました。



スイーツや総菜の販売でにぎわった

道の駅四万十大正ふるさと市開催

道の駅四万十大正で、4月29日、「ふるさと市」が開催されました。このイベントは、観光客や帰省客の皆さまに、道の駅四万十大正周辺の豊かな自然を、地域の方々と触れ合いながら楽しむひとときにしてみようという毎年開催しています。

当日はあいにくの天候となりましたが、地域の方々が手作りのスイーツや総菜、地酒、木工体験などのお店が並んだほか、地元中学生・高校生合同によるジャズ演奏やとどろき太鼓保存会による和太鼓の演奏などもあり、立ち寄った観光客も満足そうに、雰囲気を楽しんでいました。



被災地へ派遣された職員



全国から派遣された自治体職員が心を一つに

町職員4名を被災地輪島市へ派遣

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で、甚大な被害を受けた石川県輪島市へ、当町の職員4名を派遣しました。これは、総務省からの応援要請に基づくもので、高知県をはじめ、東京都、大阪府、福岡県など1都1府12県が、輪島市に対して災害派遣を実施したものです。

派遣職員は、3月中旬から4月中旬にかけ、10日間の日程で交代で被災地に派遣され、被災地支援の最前基地となった日本航空学園の敷地内にテントを張り、寝袋で睡眠をとりながら、支援活動を実施しました。

実際の被災状況を肌で感じ、直接、被災者との対応を通して、生の緊迫した現場を学べたことは当町にとっても非常に大きな財産となります。

派遣職員が目の当たりにした事実や感じた不安、その恐ろしさを、今後は全職員に共有するとともに、地域の自主防災組織を通して皆さまにも共有することで、一人一人の防災意識をさらに高め、当町の防災対策がより一層強固なものとなるよう努めていきます。

派遣職員	所属	派遣業務
有田 佳弘	税務課	罹災証明発行業務
今井千津子	危機管理課	住家被害認定調査業務
谷 雅仁	危機管理課	住家被害認定調査業務
田井 翼	農林水産課	住家被害認定調査業務



高幡5市町と佐川急便による協定締結式

災害時の物資輸送支援協定を締結

災害時の物資輸送について、高幡5市町（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）と佐川急便による協定締結式が、4月10日、須崎市役所で行われました。

この協定は、大規模災害時に自治体のみでは、支援物資の受入や配送が困難になることを想定し、民間事業者と連携することで、避難所への物資配送や物資集積所での積み下ろし作業などを容易とし、被災者の生活をより安定させることを目的としています。今後は協定市町とも連携し、南海トラフ地震を想定したより実効性のある協定内容となるよう、連携強化に努めていきます。

㈱大塚商会へ感謝状を贈呈

株式会社大塚商会（本社／東京都千代田区）と高知・愛媛両県の12市町村は、令和5年度に「災害時における相互応援及び支援協力に関する連携協定」を締結しています。

この度、当協定に基づき、㈱大塚商会より企業版ふるさと納税制度を活用した防災資機材の物納寄附をいただいたことから、4月15日、四万十市にて高知県内の7市町村より感謝状の贈呈を行いました。贈呈式終了後の寄贈品のお披露目会では、水循環型シャワーキットや電子ボードなどの実演も行われ、参加関係者は日頃の備えや連携体制について再確認をしました。



防災資機材の寄贈に対して感謝状を贈呈
株式会社 大塚商会 取締役 兼 専務執行役員 齋藤 廣伸

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ

令和6・7年度の保険料率が決まりました

高知県の後期高齢者の医療費は毎年増加しているため、医療保険が負担する費用も増加しています。

将来にわたって安定した制度運営を行っていくために、**令和6・7年度の保険料率については、令和4・5年度の保険料率（被保険者均等割額55,500円・所得割率10.50%・年間保険料の上限66万円）から引き上げる**こととなりました。

令和6・7年度の保険料の計算方法

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1人あたりの} \\ \text{年間保険料（※1）} \\ \hline \text{（100円未満切り捨て）} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{〔被保険者均等割額〕} \\ \hline \text{56,000円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{〔所得割額〕} \\ \hline \text{賦課基準額（※2）} \times \text{10.78\%} \\ \hline \end{array}$$

（※1）保険料の激変緩和措置により令和6年度の1人あたりの年間保険料の上限は73万円です。（※100円未満切り捨て）
ただし、令和6年4月1日以降に75歳に到達し、後期高齢者医療制度の被保険者となられた方の年間保険料の上限は80万円です。

（※2）賦課基準額とは、総所得金額など（被保険者の前年中の収入額から各種控除や必要経費を除いた所得の合計額）から、基礎控除額（43万円）を差し引いた額です。

令和6年度は激変緩和措置があります

① 所得割率の激変緩和措置

総所得金額などから基礎控除額43万円を差し引いた金額が**58万円以下**の方が対象

所得割率	改正前（令和5年度）	改正後（令和6年度）	改正後（令和7年度）
	10.50%	10.01%	10.78%

② 年間保険料の上限の激変緩和措置

令和6年3月31日**以前**に75歳になられた方および障がい認定により後期高齢者医療制度の被保険者となられた方が対象

年間保険料 上限額	改正前（令和5年度）	改正後（令和6年度）	改正後（令和7年度）
	66万円	73万円	80万円

被保険者均等割額軽減対象者の基準が広がります

均等割額の2割軽減および5割軽減の対象世帯に係る所得判定基準が広がります。
詳しくは、7月中旬に保険料決定通知書をお送りしますので、そちらをご確認ください。

【お問い合わせ先】 町民課 ☎22-3117 大正町民生活課 ☎27-0112 十和町民生活課 ☎28-5112

道の駅めぐり窪川25周年創業祭



来場者がさまざまなグルメを楽しんだ創業祭

1999年4月にオープンした道の駅めぐり窪川で、4月21日に創業25周年を記念した創業祭が開催されました。

当日は悪天候のため、窪川中学校吹奏楽部やジャズオーケストラの演奏などは中止となりましたが、それでも約3,000人の来場者が訪れ、会場内に設けられた特設ブースでは、新商品の「四万十たっぷり丸ぎょうざ」や「にら饅頭」などを販売。また、日頃の感謝の気持ちを込めて仁井田米の特売やお楽しみのガチャボールも混じった餅まきなども行われ、来場者にとっては、食べて、買って楽しめる大満足の創業祭となりました。

戸田建設(株)より鮎モニュメント寄贈



道の駅めぐり窪川に設置された鮎をイメージした立体看板

戸田建設(株)より当町へ、四万十川の鮎をイメージした立体看板の寄贈があり、4月21日、道の駅めぐり窪川の創業祭に併せて寄贈式が行われました。

戸田建設(株)は、現在、工事中の高知自動車道平串トンネルの施工業者であり、このたび、地域貢献の一環として寄贈いただいたもので、この鮎看板は、道の駅めぐり窪川のレストラン入り口に設置されました。鮎看板の除幕式終了後、紅白餅1,000セットが無料で配布されたほか、戸田建設(株)からは、焼きたての鮎の塩焼き300匹も無料で配布され、訪れた方を喜ばせていました。

馬之助神社の新社殿が完成



新しくなった馬之助神社の社殿

打井川地域にある馬之助神社で、5月5日、新社殿の落成式が行われました。

これは旧社殿の老朽化に伴い、海洋堂ホビー館館長の宮脇修さんの寄進により、昨年から建築工事が進められていたもので、落成式当日は、約30名の関係者が集まり、厳かに神事が執り行われました。海洋堂かっぱ館近くの駐車場では、餅まきが行われ、100名を超す多くの方々が、馬之助神社新社殿の完成を祝いました。中打井川地区の林一宏区長は、「海洋堂をはじめ、協力いただいた方々に感謝しています。今後は、地域の宝として守っていきたい」と話していました。

小学生へもんちゃんえんぴつ贈呈



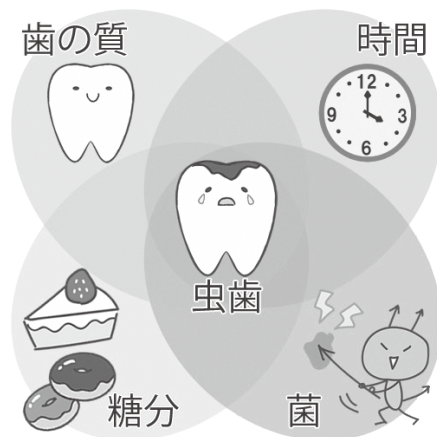
鉛筆の持ち方を学ぶ絵本の贈呈式

今年も町内の小学1、2年生に、(株)田邊建設、四万十うなぎ(株)、宗崎幸子さんから「筆育もんちゃんの ちゃんともてる さんかくえんぴつ」が寄贈され、4月4日に町役場にて贈呈式が行われました。この「筆育もんちゃんえんぴつ」は、高知市の絵本の店コッコ・サンが考案したもので、子どもたちが指をどこに置けばよいのか意識しやすいように「イラスト」がついているのが特徴で、早速開催されたコッコ・サンによる「えんぴつの持ち方教室」では、新1年生が鉛筆を正しく持つための魔法の呪文を唱えながら、楽しく鉛筆の持ち方を学んでいました。



子どものむし歯予防について

6月4日から10日は歯と口の健康習慣です。
むし歯の原因には「菌（ミュータンス菌）」「糖分」「歯の質」の3つの要素があり、それらが重なったときに、時間の経過とともにむし歯が発生します。
むし歯を防ぐためには、日々の歯みがきが大切です。
歯磨きは子どもが磨いた後、保護者の方が仕上げ磨きをしましょう。



仕上げ磨きのポイント

仕上げ磨きは、初めは嫌がってしまい、歯をしっかりと磨かせてくれないことが多いです。
歯磨きに慣れるように、歌を歌ったり、数を数えたりしながら楽しい雰囲気で行い、最後は褒めてあげましょう。
また、自分で磨けるようになって、小学校高学年ぐらいまでは、仕上げ磨きをすることをお勧めします。

嫌がってしまうときは…

歯を 1、2 本ずつ、何回かに分けて磨きましょう！
習慣づけが大切です。ローテーションで全部磨くように、短い時間でできる歯磨きから続けましょう。



【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

小さいお子さまのお薬



お子さま連れでの受診、お薬の受け取りはとても大変ですよね。特に小さいお子さまの粉や液体お薬の調剤、監査には時間がかかってしまうことが多く、長くお待ちになってしまうことがよくあります。

そんなときに「かかりつけ薬剤師制度」や「在宅訪問」を利用することで、同じ薬剤師が対応し、緊急時の相談、薬の配達や一元管理などを行うことができます。負担金がかからないことも多いので、気軽にかかりつけの薬局、薬剤師に相談してください。

● 6月の無料健康相談日 ●
23・30 日（日） 予約不要
お気軽にお越しください！

【お問い合わせ先】
調剤薬局技術センター
☎22-1000



健康検査・がん検診

内 容	日 時		場 所	お問い合わせ
結核・肺がん、胃がん、 大腸がん、前立腺がん、 若者健診、特定健診、 後期高齢者健診	7月 2日(火)	8:30～10:30	仁井田町民会館 ※結核・肺がんは巡回のため10:15まで	健康福祉課 ☎22-3115
	7月11日(木)		大正健康管理センター	大正町民生活課 ☎27-0112
	7月12日(金)			
結核・肺がん、大腸がん、 前立腺がん、若者健診、 特定健診、後期高齢者健診	7月 2日(火)	13:00～14:30	影野町民会館	健康福祉課 ☎22-3115
乳がん検診	6月19日(水)	8:30～11:00	四万十町役場東庁舎	
子宮頸がん検診		9:00～10:30		



子育て通信

内 容	日 時	場 所	お問い合わせ
4 か月児・7 か月児健診	6月19日(水)	窪川地域子育て支援センター	健康福祉課 ☎22-3115
	7月17日(水)		
赤ちゃん相談	6月20日(木)	十和地域子育て支援センター	十和町民生活課 ☎28-5112
	7月10日(水)	窪川地域子育て支援センター	
1 歳 6 か月児健診	6月26日(水)	対象者に個別通知 四万十町役場本庁東庁舎	健康福祉課 ☎22-3115



からだに
いいはなし

肩関節周囲炎のおはなし

今回は肩関節周囲炎のおはなしをいたします。
この病気は中年層に多く見られることから、一般には四十肩、五十肩と呼ばれています。30 代から 90 代の方まで幅広く痛みを訴えておりますので、もはや四十肩、五十肩とは言いにくくなっています。
肩関節の周りの組織が炎症を起こし、腕を上げたり、背中に手を回したりといった動作が痛みで可動制限を来した状態をいいます。急に悪くなることは少なく、序々に痛みが増していき、動きも悪くなっていく経過をたどります。肩の骨の関節は多くの筋肉・腱・靱帯・滑液包などに囲まれており、これらが炎症を起こすと痛みが出て動きが悪くなるといった症状が出てきます。腕を上げるのに重要な動きをする腱板は肩の骨と上腕の骨の狭い間に通っており、動かすことにより腱板の上の肩峰下滑液包に炎症が生じ易くなり、この病気の原因となります。
治療としては、痛みの強い急性期には安静にして、痛みが和らぐようにします。痛みが出る動作をなるべく避けて、肩の安静を図ります。痛みを軽減するために、消炎鎮痛剤の内服や外用薬（シップ、貼り薬など）を貼ることが効果的です。また、痛みが強いときは、麻酔薬などを直接、肩関節内や肩峰下滑液包内に注入したり、筋膜リリース注射で痛みの刺激物を生理食塩水などで洗い流して痛みの改善を行い、筋膜や筋肉の癒着を剥がして可動域の改善を図るといった手技もあります。痛みが軽くなれば運動療法を行っていきます。多くの場合は時間の経過とともに炎症が取れ、症状も軽快していきます。
これらの症状が気になる方は、一度医師にご相談ください。

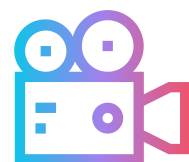
四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・岩本啓寛・大川剛史

広報紙の情報をわかりやすく映像で配信！

見て

「四万十町通信」で、紙面上伝えきれなかった情報は、町ホームページや公式YouTubeにて詳細な情報を発信しています。当月号の特集ページ「大地震は起きる」についての関連動画も、紙面上のQRコードから簡単にYouTubeで閲覧できます。

また、公式Instagramでは、町内の魅力的な風景などの写真を公開していますので、そちらも併せてご覧ください。



四万十町公式

YouTube

思いが伝わる！

文字や写真だけでは伝えきれない情報を、映像で。



チャンネル登録してね //



四万十町公式

Instagram

一見の価値あり！

写真で伝わる美しさ。この風景が私たちの自慢。



// フォローしてね //



○休日在宅当番医

月 日	医院名	電話番号
6月 16(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
23(日)		
30(日)		
7月 7(日)		



○休日水道修理当番

月 日	業者名	電話番号
15(土)	高橋設備	☎22-0662
16(日)	桑原水道	☎22-1163
6月 22(土)	横山水道設備	☎22-3608
23(日)	岩本商店	☎22-2716
29(土)	日化住宅機器	☎22-0407
30(日)	宮脇水道	☎22-1581
7月 6(土)	高橋設備	☎22-0662
7(日)	桑原水道	☎22-1163

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。
大正 地域振興課 ☎27-0111
十和 地域振興課 ☎28-5111

○無料相談（秘密厳守です。） ▶行政相談…【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

人権相談

月 日	時 間	地 域	場 所	電話番号
7月 3(水)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第1会議室	町民課 ☎22-3117

1日行政相談

7月 9(火)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第1会議室	総務課 ☎22-3111
---------	-------------	----	---------------------	--------------

町使用公用車を売却します

お知らせ

町使用の公用車を次の条件にて売却いたします。

●売却対象車両

自動車登録番号：「高知45 た 2876」
車名：ニッサン 型式：GA-SS88VN
初年度登録：平成8年6月
走行距離：91,850km(R6年4月末現在)
車検有効期間：令和6年8月5日
※この車両は、令和4年12月頃までリハビリ送迎車として稼働していました。



●申込資格 四万十町内に住所を有する個人または法人

●申込方法 十和町民生活課備付の用紙(入札書)へ記入・押印のうえ、「入札書在中」と書いた封筒へ入れて封印したものを十和町民生活課まで提出してください。

●入札および車両公開期間

6月17日(月)~7月2日(火)
※ただし、土・日・祝日を除く8:30~17:00(12:00~13:00を除く) 最終日は15:00まで。

●車両公開場所

四万十町十和地域振興局前駐車場
(四万十町十川145-3)

お問い合わせ先

十和町民生活課 ☎28-5112

【お問い合わせ先】企画課 ☎22-3124

国民年金保険料の納付は便利な
口座振替をご利用ください

お知らせ

国民年金保険料納付は、郵便局や金融機関の窓口のほか、コンビニも利用できますが、納め忘れがなく、確実な口座振替やクレジットカード納付が便利です。

口座振替を希望される方は、下記の5種類からいずれかを選んでお申し込みができます。(1)～(4)の振替方法で申し込みをされた場合は、国民年金前納割引制度による各種割引の対象となります。

- (1)2年前納(4月～翌々年3月分)
- (2)1年前納(4月～翌年3月分)
- (3)6か月前納(4月～9月分、10月～翌年3月分)
- (4)当月末振替(早割) ※本来の納付期限よりも1か月早く口座より振替する方法です。
- (5)翌月末振替 ※保険料の割引はありません。※保険料が一部免除された方は、口座振替の前納制度はご利用いただけません。※割引金額は、(1)～(4)で異なります。



お問い合わせ先

高知西年金事務所 ☎088-875-1717
※お問い合わせの際は、お手元に基礎年金番号のわかる年金手帳や年金証書をご用意ください。
町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

犬・猫の飼い方について

生き物を飼うことに責任を持ち、適切に飼いましょう。犬猫の繁殖効率はとても高いです。今以上に飼うことができない場合は、不妊去勢手術をして安心できる飼育をしませんか。飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金もありますのでご活用ください。

【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119

教育振興基本計画案の意見公募

募集

「次期四万十町教育振興基本計画」(案)の意見公募を実施します。皆さまのご意見を募集します。

- 閲覧期間 7月10日(水)～7月31日(水)
- 閲覧場所 (1)役場本庁西庁舎1階閲覧所
(2)大正地域振興局1階閲覧所
(3)十和地域振興局1階閲覧所
(4)興津出張所閲覧所

お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594

人権擁護委員制度を
ご存じですか

お知らせ

6月1日は人権擁護委員法が施行された日です。「人権」とは「人が幸せに生活するために必要な権利」です。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、地域住民の皆さんが、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったり、法務局や役場といった公共施設などにおいて、家庭や職場内における問題、パワハラ、セクハラ、DV、いじめ、女性・子ども・高齢者などをめぐる人権の問題やインターネット上の誹謗中傷などの人権問題に関するあらゆる相談をお受けします。相談は無料で秘密厳守となっていますので、一人で悩まずお気軽に法務局または人権擁護委員にご相談ください。

四万十町の人権擁護委員の方々を紹介します。
【窪川地域】岡本 則子さん、中津 吉弘さん、樋口 寛さん、吉村 和子さん
【大正地域】芝 たがさん、吉本 江利さん
【十和地域】伊賀 修さん、山中 弘子さん

お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

個人町・県民税の納税通知書を
発送します

お知らせ

令和6年度の個人町・県民税納税通知書を6月10日(月)に発送します。

- 納期限 1期 7月1日(月)
- 2期 9月2日(月)
- 3期 10月31日(木)
- 4期 12月25日(水)

納期限までに納付をお願いします。

お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116

防災連載企画 No.3

能登半島地震からの警告! 「地震火災の恐ろしさ!」

観光名所でもあった石川県輪島市の「輪島市朝市通り」では、能登半島地震による火災で、約300棟の建物が焼失しました。この火災の原因として指摘されているのが、「電気配線の損傷」によるもので、南海トラフ地震が発生した際にも、同様の事態が懸念されています。

■地震火災の3つの発生原因■

- 1 電気配線が切れる
- 2 ストープなどとの接触
- 3 通電火災

■地震火災による被害想定(南海トラフ地震の場合)■

死者:約10名 家屋焼失:約100棟



身の安全を確保できたら

地震火災を防ぐために

避難する前に必ずブレーカーを落とす

OFF 停電が復旧した際、通電火災などの可能性がありますので、避難する際は、必ず**自宅のブレーカーを落として避難するようにしてください!**

感震ブレーカーの設置

感震ブレーカーは、一定の揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める機器です。様々なタイプのものがあります。

【お問い合わせ先】 危機管理課 ☎22-3280

次回 「知っているようで知らない液状化の危険性!」

四万十町過疎地域持続的発展計画の変更(案)に関する意見公募を実施します

募集

本町では、令和3年4月1日に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、持続可能な地域社会の形成および地域資源を活用した地域活力のさらなる向上を実現するための各種取組について定めた「四万十町過疎地域持続的発展計画」を策定しています。このたび、計画の変更を行いますので、町民の皆さまからのご意見を募集します。

●案件名 四万十町過疎地域持続的発展計画の変更について

●公募期間 6月14日(金)～7月4日(木)

●資料の閲覧方法

(1)閲覧所での閲覧

①役場本庁西庁舎1階閲覧所、②大正地域振興局1階閲覧所、③十和地域振興局1階閲覧所、④興津出張所閲覧所

(2)町ホームページでの閲覧

<https://www.town.shimanto.lg.jp/pubcom/detail.php?hdnKey=10687>



●提出方法

(1)意見箱による投函

(2)郵送の場合 〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17 四万十町役場 企画課宛

(3)FAXの場合 0880-22-3123

(4)直接提出する場合 役場企画課へお越しください。

(5)電子メールの場合 103080@town.shimanto.lg.jp

お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

脇山さとみ 作陶展 vol.2

イベント

大阪市在住の陶芸家、脇山さとみさんの作品を展示販売いたします。個性的な絵柄が特徴の陶器や花入れなどゆっくりご覧ください。



- 日 時 6月14日(金)～6月30日(日)
9:00～16:00 ※木曜定休
- 場 所 古民家カフェ半平

お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

教科書展示会のお知らせ

イベント

四万十教科書センターが、小学校・中学校・高等学校で使用する教科書見本の公開展示を行います。

また、公開展示期間以外でも四万十教科書センターが教科書見本を保管しており、一般の方々もご利用(閲覧・貸し出し)できます。貸し出しの際には、本人確認のため身分を証明するものが必要です。貸出期間は原則として10日間です。

公開展示閲覧や貸し出しなどをご希望の方は、四万十町教育研究所までお問い合わせください。

- 日 時 6月14日(金)～6月27日(木)
9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
- 場 所 四万十町農村環境改善センター 2階
第1会議室

お問い合わせ先

四万十町教育研究所 ☎22-3287

道の駅 四万十とおわ
「道の駅&ジップ周年ウィーク」

イベント

- 日 程 6月22日(土)～7月7日(日)
- 場 所 道の駅 四万十とおわ
- 内 容 ●ジップライン:体験者は空くじなし!ガラポン抽選
●とおわのアイス屋さん:アイス全品300円
●とおわ市場:17周年特別セットの販売
●道の駅各施設利用でスタンプラリー&景品当たる!
●7月4日(木) 周年バイキング 特別価格1000円食べ放題
●その他にも新メニューなどお披露目予定
※6月26日(水)のとおわ食堂・ジップラインは定休日です。
※イベント内容は変更になる場合があります。

道の駅四万十とおわ17周年感謝祭

- 日 時 7月7日(日)10:00～15:00
- 内 容 ●地元生産者による出店イベント
●あぐり窪川や四万十大正など町内の道の駅をはじめとした近隣道の駅による出店イベント
●とおわ食堂「十和かご膳」特別価格777円、77食限定
●餅投げ(14:00～)

お問い合わせ先

道の駅 四万十とおわ ☎28-5421

マリンフェスタ興津2024

イベント

興津海水浴場の安全祈願祭と海水浴シーズンの到来を告げるイベント『マリンフェスタ興津』を開催します。

当日は、釣り大会・ビーチフラッグ・海開き神事・餅まきなどが行われます。

- 日 時 6月29日(土)8:00～
- 場 所 興津海水浴場

※イベント内容は変更になる場合があります。



お問い合わせ先

(一社)四万十町観光協会 ☎29-6004

町営住宅入居者募集

募集

●募集住宅

団地名	間取り	募集戸数
七里団地(公営)	3DK	各1戸
今成団地(公営)	3DK	
昭和井ノ上団地(定住)	3LDK	
十川鍋谷団地(定住)	1DK	

- 申込期限 6月28日(金)必着
- 必要書類 入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など
- その他 ①申し込みは1回の募集において1世帯につき1通に限ります。
②入居資格、申し込み方法などについては建設課までお問い合わせください。

●申込書記布場所

建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所

お問い合わせ先

建設課 ☎22-3120

風水害時の避難所について

お知らせ

線状降水帯や台風などにより豪雨災害などの危険性がある場合、次の避難所を開設します。最寄りの避難所をご確認のうえ、「いつもと違う」と感じた場合は、早めの避難をお願いします。

風水害時の避難所	窪川地域	農村環境改善センター
		集落活動センター仁井田のりん家
		米奥小学校校舎
		東又小学校校舎
		興津小学校校舎
	大正地域	志和コミュニティセンター
		大正地域振興局
		大正北ノ川多目的集会所
	十和地域	十和地域振興局
		十和隣保館

☑キーワード「垂直避難」

- ・夜間の激しい降雨などで避難所などへ避難することが困難な場合は、建物の2階以上に避難
- ・土砂災害の恐れがある場合は、山側と反対の部屋へ移動し、窓ガラスには近づかない

お問い合わせ先

危機管理課 ☎22-3280

第2弾!「こうち省エネ家電等購入応援キャンペーン」

お知らせ

家庭における電気代負担軽減や脱炭素化を後押しするため、省エネ性能の高い家電製品などの購入を支援します。

- 対象者 県内の対象店舗で、対象期間中に、対象製品を購入した県内在住者
- 購入・設置期間

5月8日(水)～8月31日(土)

●申請受付期間

5月8日(水)～9月9日(月)

●対象製品

一定の省エネ基準(省エネラベル)を満たす下記の製品
エアコン(★2以上) 電気冷蔵庫(★2以上) 温水機器(エコキュート★4以上、ガス温水機器★3以上) テレビ(19v型～★3.5以上、39v型～★2以上) LED照明器具(シーリングライト・ペンダントライト★4以上)

●支援内容

対象製品の購入金額(税抜)の合計に応じて支援を実施
※申請は1人1回のみ ※運搬費・取付費・工事費・撤去費は対象外

●支援額

購入金額(税抜)の合計	支援額
2万円以上 5万円未満	5,000円
5万円以上 10万円未満	10,000円
10万円以上 15万円未満	20,000円
15万円以上	30,000円

詳しくは、キャンペーン特設サイトからご確認ください。

【お問い合わせ先】

こうち省エネ家電等購入応援キャンペーン事務局 ☎050-5526-9455



キャンペーン特設サイトはこちら

<https://kochi-shoene.jp>

高知 省エネ家電

検索





迅速、丁寧に農家を支える

草刈り機やチェーンソーなどの小型機械から、トラクターや田植え機、コンバインなどの大型機械まで。農機具の販売・修理を手がける恩地農機商会(十川)の2代目、恩地康成さんのモットーは「迅速、丁寧な仕事」だ。

「雑に修理してもいかんけん、やっぱり丁寧にやらんと。何の仕事もそうやろうけど。ははは」。からっと明るい笑顔で話す。

仕事の多くは、お客さんからの電話で始まる。「エンジンがかからん」「どうも調子が悪い」。特に、稲刈りの農繁期には迅速さが求められる。工具箱を持って田んぼに出向き、その場で機械を修理する。十和地域のほか、大正や西土佐のお客さんもある。

故障の原因は主に電気系か燃料系のトラブル、トラクターの爪を回転させるロータリーの不具合など。交換用のベルトはすぐに対応できるよう、全メーカーのものを取りそろえてある。現場で直せないことは「あんまりない」という。

「直ったら『ありがとう』『すまんね、早う来てもらうて』って言うてくれる。やっぱりそこが一番のやりがいやね。自分

は人と会話するのが好きで、わいわいするタイプやけん」。

十川中学校から宿毛高校、東北学院大学に進み、卒業までは野球一筋。大学の同級生や後輩の中にはプロになった人もいる。東北では社会人野球の企業チームからの誘いもあったが、地元に戻ることに。整備士の研修を終えてから帰郷したのが約20年前。働きながら、父や整備士のおじの背中を見て修理の技術を磨いたという。

会社は、今から60年ほど前の「牛から耕運機に変わる頃」に父が起こした。一時期に比べたらお客さんもだいぶ減ったというが、日常生活に欠かせない草刈り機などの修理依頼は絶えない。

「ここがなかったら困る農家さん、おと思う。喜んでもらえるように1人1人を大事にね、お客さんあっての自分らの仕事やけん」。誇らしげな笑顔で工具を握った。



愛用の工具箱。これを持って現場に出向く



ちよい 町にはこんな waza も
waza!!

和太鼓チームのリーダー！ 山本湊真さん 昭和小学校5年

和太鼓チーム「とどろき結太鼓」のリーダーを務める。毎週水曜に練習を重ね、イベントなどで披露している。「みんなと音を合わせて叩くのが楽しい」。次の発表では「声を出して力強く叩くのが目標」という。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。ちよいwaza!!は随時募集中!▶



令和6年度 入学式 対面式・部活動紹介



4月8日月令和6年度入学式を開催しました。新入生27名は、緊張した面持ちでしたが、翌日は少し緊張も解けた様子で2・3年生と対面し、部活動紹介を見学しました。楽しい学校生活になるよう学校をあげてサポートをします。

Welcome Sports Festival 2024 (体育祭)



昨年度から仲間づくりを目的として5月に移行して開催している体育祭ですが、今年度はウエルカムスポーツフェスティバルと名称を変え、5月2日(木)に開催しました。1年生歓迎の意味も込めて、2・3年生が体育祭の係を担い、運営も担当するなど、みんなが楽しめる9競技の準備を生徒会が中心となって進めてきました。前日の雨の影響でグラウンドは少しぬかるんでいましたが、心地よい日の差しの中、全校生徒が集い、笑いの絶えない楽しい交流ができました。応援グッズを作って、他学年や他チームも積極的に応援し合う光景も見られ、この行事を実施する意義が感じられる気持ちのよい体育祭でした。



じゅうく。

#地域で挑戦する、高校生たち



「じゅうく。」では、コースごとに授業を展開しています。写真は、高校1年生の英語コースの授業の様子です。英語の文章の暗唱を通して、単語や文法の理解に取り組んでいます。ほかにも、国語コースや数学コースなどもありますので、授業見学や体験をご希望の場合は、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 町営塾「じゅうく。」 ☎050-5482-3339

人材育成推進センター ☎22-3163



こいのぼりの川渡しなど、
見どころ多い十川地区の
東の玄関口。

十川① 小貝

26匹から始まった「こいのぼりの川渡し」

左手に小野集落を眺めつつ国道381号を西へ行く。右に星神社、左下にこいのぼり公園があるところが十川のこ貝地区である。初夏、こいのぼりの群れが四万十川上空を泳ぐ。これに似た取り組みが全国各地で行われるようになって久しいが「こいのぼりの川渡し」の発祥はここ十川である。このイベントの凄いところは、どこかの模倣ではなく、オリジナルな発想であったことである。ヒントになる風景はあった。昭和48年5月のある日のこと、大正の打井川で鯉のぼりのロープが解けて風に流されている様子を見た十和村のある人が「これは面白い！そして美しい！鯉のぼりが縦に泳いでいてもいいじゃないか！」と、まさに膝を打つ思いでこのアイデアを村に持ち帰ったのが事の始まり。この翌年、役場の駐車場と向こう岸との間で最初の鯉のぼり26匹が四万十川上空を泳いだのである。このことは十和村閉村記念誌に詳しい。

宇宙とつながる郷社

こ貝集落の産土神は白皇神社で、厳島神社も合祀されている。また、こ貝には旧十川村(十川・川口・戸川・古城・地吉・広瀬・井崎)の郷社・星神社がある。祀られているのは北斗七星とされていて、これが星神社という社名の由来のように思うのだが、元は妙見大明神という社名だったようであるから、由来はそれではないのかもしれない。面白い物もある。境内に直径1mほどの丸い石が台座に据えられている。これは数十年前に、ある作業現場から出たものらしいのだが「空から降ってきた

石」とされている。星神社の社名、北斗七星、空から降ってきた石と「信仰対象が宇宙」というところが実に興味深い。さて、この星神社境内の神楽殿では、毎年5月と8月に、国の重要無形民俗文化財に指定されている幡多神楽が披露される。

最後にその名が変わる小貝川

こ貝の集落は、星神社脇を流れる小貝川(通称 小貝谷)沿いの約2kmの間にある。この小貝川は四万十川に合流する地点だけを「はらい(祓い)川」と呼び、しめ縄が施されている。お祭りの時には集落の当番の人が古城まで水を汲みに行き、この場所でお祓いをするという。

四万十川対岸の小野とこ貝の間に展開している瀬は「こ貝の瀬」と呼ばれる。この付近は、四万十川の中でも屈指の鮎掛けポイントとして知られている。



星神社は絵馬も星の形！

町のうごき

(4月30日)	人	口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,295	-3		男 1	15	35	24
女	7,899	-5		女 3	23	34	19
計	15,194	-8		計 4	38	69	43
世帯数	8,040	15		(4月中の届出)			

窪川地域 10,832人 大正地域 2,084人 十和地域 2,278人